

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

西合志第一小学校
学校だより 第46号
文責 校長 西村羊治
裏面あり
令和6年10月31日

思い出

6年生は、10月24・25日の1泊2日で長崎に修学旅行に行ってきました。1日目は、平和記念公園での平和集会・如己堂や大浦天主堂のフィールドワーク、八木道子さんの平和講話、稲佐山からの夜景。2日目は、ハウステンボスで思いっきり自由行動とお土産の購入、2日間丸々充実した時間を過ごすことができました。大きな怪我や病気もなく、天候にも恵まれ思い出に残る2日間となりました。修学旅行の引率は、6年生や中学2年生の担任の時を含めると10回目になるかと思えます。いつも思うのは、子ども達が怪我無く「無事に家に帰る」ことです。実際、全国ではわずかではありますが、修学旅行での死亡事故や交通事故が起こっている事実があります。2つ目が、「感謝の気持ちを持っての言動」です。バスの運転手さん・ガイドさん・添乗員さん・ホテルの方・講話の講師の方・フィールドワークのガイドさん・旅費を出してくださる保護者の方・引率の先生など、いろいろな方のおかげで修学旅行が実施できます。お世話になった方への「感謝」の気持ちを持つことは大切

中央小学校と一緒に平和集会



です。そして、その気持ちを言葉や行動で表せる子どもであって欲しいと思います。2日間、6年生と一緒に過ごし、上記の2つのことを見せてもらうことができました。中央小の同級生と「成長」できました。残りの5ヶ月にきっと生かしてくれることと思います。今回の修学旅行に関係してくださったすべての方々に感謝いたします。

ハウステンボスでにっこり!



2日間、6年生と一緒に過ごし、上記の2つのことを見せてもらうことができました。中央小の同級生と「成長」できました。残りの5ヶ月にきっと生かしてくれることと思います。今回の修学旅行に関係してくださったすべての方々に感謝いたします。

英会話力

29日の3時間目に5年生の外国語の授業に参加させていただきました。内容は「校長先生に好きな施設や欲しい施設を紹介しよう」でした。私がお気に入りの場所を聞いてそれに答え、どこにあるのか道順を教えるという内容でした。普段しない校長との英会話だったので、恥ずかしそうな子もいましたが、8人全員が自ら手を挙げ、全員が英会話に挑戦できました。

日高先生の楽しい授業に臨む5年生



私は教諭時代、視察研修でアメリカの先生を受け入れた経験があります。ある女性の教師が、私の学級を見て、私に対して児童への関わり方や学級経営のポイントを尋ねられました。私は手振り身振りで熱弁しましたが、もちろん通訳を通さないと伝わりません。英語で説明できたらどんなに自分の気持ちがストレートに伝えられるかを思うと、英会話ができないことのもどかしさを強く思いました。しかし、今でもしゃべれないままです。私の経験からも、是非第一小のみんなには英語を好きになり楽しんで英会話に挑戦して欲しいと思います。

世界の英語圏の人ともコミュニケーションをとり、世界中に友だちができるなんて素晴らしいことじゃないですか。

集中してます！

29日の2時間目、4年生国語の研究授業がありました。参観及び指導には、合志市教育委員会の廣田先生に来ていただきました。和と洋のくらしという説明文で、和室や洋室の使いやすさを読み取る内容でした。担任の小林先生は、祖父の形見である黒い和服に身を包み授業に臨みます。この単元の最初に着物姿を披露した時は、



授業に集中する4年生と着物姿の小林先生

クラスの子ども達から歓声が上がったそうです。研究授業では、見慣れた着物姿の小林先生の授業に集中し、子ども達は取り組みました。和室と洋室それぞれの良さを文章の中からあるキーワードをもとにして読み取っていきます。子ども達は集中してノートにきれいにまとめていきます。また、疑問に思ったことや気付いたことを発言していきます。和室は1つの部屋をいろいろなことに使える、洋室はその部屋で何を



授業後黒板をきれいにする係の子

発にしました。すがすがしく授業に取り組む4年生の姿が印象的でした。授業後には、係の子が黒板をきれいにしていました。素晴らしい！

明日です！ 百五十周年式典

本日で10月が終了します。いよいよ明日から11月に突入です。明日はこの西合志第一小学校の前身である弘生学校ができて、百五十周年を迎えます。百五十周年記念碑の除幕式から始まり、オープニング、あいさつ、タイムカプセル開封式紹介、隅倉雄一先生によります「子どもの夢を育む科学実験」、午後は児童の学習発表を予定しています。これまでつないできた百五十年の歴史を考える機会になればと思います。実際児童数が減り閉校になった学校、合併吸収された学校など全国では、開校したが継続していない学校が複数あります。この西合志第一小学校が、百五十年も続いているという奇跡をみんなで見守り感謝できる式典になるよう、みんな協力できたらと思います。

明日に向けて！

30日(水)の朝から4年生と濱崎先生、小林先生が作業をしていました。何かというと運動場に入るコンクリートの下り坂があります。そのコンクリートと運動場の境に段差があり、車が入るときに車の底をこすってしまうことがあります。その様なことがないようにするための作業を、自主的にやってくれていたのです。管理職は何も言ってません。自ら考え自ら行動する先生方や子ども達の行動力に感謝と感動を覚えます。この様な素晴らしい組織力が本校にはあります。校長として自慢できる学校・職員・子ども達です。お客様を迎えるに当たって気付いたことをできることをやる、この様な経験は、思いやる心、相手の立場に立つこと、やさしさなど、豊かな心を育むことができます。



作業をしてくれる4年生